

(9) 文化施設

・施設の概要

文化施設は、各種設置条例に基づき、美術や歴史、民俗などに関する資料展示や保管を行う場として以下の5施設を設置しています。(表2-37) なお、笛吹市青楓美術館、八代郷土館、春日居郷土館については、来館者向けに様々な特色のある資料展示を行っています。

(注) 35

一方、石和民俗資料館、八代文化財整理室については、各種資料の保存倉庫となっており、来館者向けの資料展示は行っていません。

施設名称	所管部門	代表建築年度	施設形態	設置条例	取得の経緯	備考
石和民俗資料館	文化財課	明治時代中期	単独		昭和31年に民間から旧石和町に寄贈	現在、保管倉庫として利用
笛吹市青楓美術館	文化財課	昭和49年度	単独	笛吹市青楓美術館条例	昭和59年に民間から寄贈	二科会創立に尽くした津田青楓の南画風の作品など60点を展示 所蔵品500点以上
八代郷土館	文化財課	明治18年	単独	笛吹市博物館条例	昭和46年に民間から寄贈 昭和52年開設	民俗資料など約2000点の資料を 収蔵・展示
八代文化財整理室	文化財課	昭和43年度	単独			発掘品の保管場所として利用
春日居郷土館	文化財課	平成2年度	単独	笛吹市博物館条例		「古代甲斐の里」をテーマに甲斐 国最古の三重塔復元模型、地域の 歴史と文化の流れを展示

表 2-37 文化施設の一覧



笛吹市青楓美術館



八代郷土館

(注) 35 資料展示を行っている3施設の入館料及び観覧料は以下のとおりです(八代郷土館は無料)。

笛吹市青楓美術館

春日居郷土館

入館料		観覧料	
一般	300円(個人) 200円(団体)	一般・大学生	200円
大学・高校生	200円(個人) 150円(団体)		160円(団体)
小・中学生	100円(個人) 80円(団体)	高、中、小学生	100円
			80円(団体)
※団体は20人以上		団体は20名以上、特別展の観覧料は別に定めます。	

・施設の配置状況と字別の人口分布

図 2-50 は、文化施設の配置と字別の人口密度を表しています。

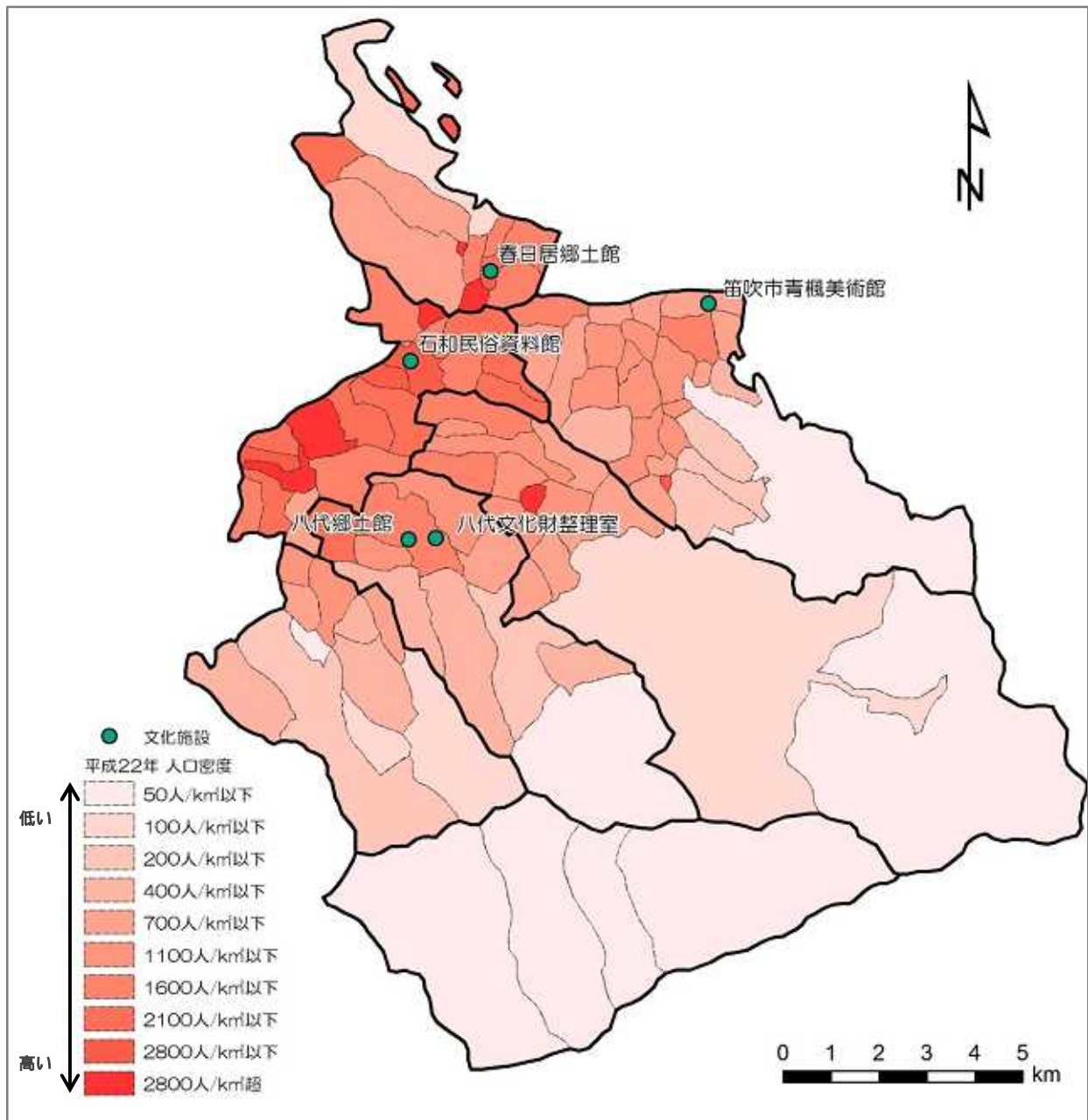


図 2-50 文化施設の配置と人口分布（人口密度）

・ 建物の現状（品質）

文化施設は5施設 8棟の建物で構成されています。（表 2-38）

躯体性能は、老朽化率が平均 82.2%と高く、木造の建物が 8 棟中 4 棟を占めていますが、2 棟については耐震性能を有しています。

個別の項目は、老朽化率が 100%（耐用年数を経過）となっている 2 施設で老朽化が進行しています。

設備の設置状況は、文化施設は多くの住民が利用する施設であることから、出入口スロープ、多目的トイレが 2 施設に設置されています。

施設名称	建物棟数	延床面積			躯体性能				設備性能			建物性能	
		施設全体	築30年経過	老朽化率	主体構造			耐震性有	大規模改修有	福祉有	節電有		節水有
石和民俗資料館	1 棟	175.00 m ²	175.00 m ²	100.0%	-	-	1 棟	-	-	-	-	-	7.0 点
笛吹市青楓美術館	1 棟	159.00 m ²	159.00 m ²	75.6%	1 棟	-	-	-	-	1 棟	1 棟	-	14.0 点
八代郷土館	4 棟	912.00 m ²	754.00 m ²	91.6%	-	1 棟	3 棟	1 棟	1 棟	-	-	-	8.5 点
八代文化財整理室	1 棟	494.00 m ²	494.00 m ²	100.0%	-	1 棟	-	-	-	-	-	-	9.0 点
春日居郷土館	1 棟	1,095.45 m ²	-	44.0%	1 棟	-	-	1 棟	-	1 棟	-	-	19.2 点
合計・平均	8 棟	2,835.45 m ²	1,582.00 m ²	82.2%	2 棟	2 棟	4 棟	2 棟	1 棟	2 棟	1 棟	-	11.5 点

表 2-38 文化施設の建物性能

建物の築年数別の傾向は、大規模改修が必要とされる築 30 年を経過した建物の延床面積が 1,582.00 m²（55.8%）となっています。また、築 21 年から 30 年以内の建物の延床面積が 1,095.45 m²（38.6%）となっており、10 年後には文化施設の 2,677.45 m²（94.4%）が築 30 年を経過します。（図 2-51）

耐震化の状況は、旧耐震基準のうち未耐震の延床面積が 1,582.00 m²（55.8%）あります。これらの施設を今後とも利用し続ける場合には、耐震改修の必要があります。（図 2-52）



図 2-51 建物の築年数別の割合

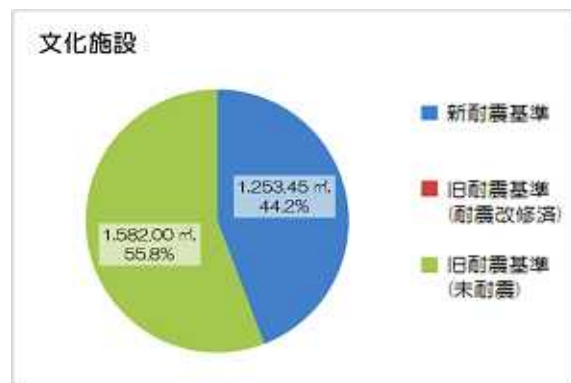


図 2-52 耐震化の状況

文化施設の建物性能点は、用途内平均が 11.5 点と全用途平均の 16.4 点より低く、全 17 用途中で 2 番目に低い点数となっています。(図 2-53)

個別施設の特徴と点数の関係では、春日居郷土館は平成 2 年度に建築された鉄骨鉄筋コンクリート造の建物(耐用年数 50 年)のため老朽化率が 44.0%と低く、建物性能点が 19.2 点と同一用途 5 施設中で最も高くなっています。

一方、石和民俗資料館は明治時代中期に建てられたといわれる木造(耐用年数 15 年)の建物で、老朽化率が 100%(耐用年数を経過している)となっており、建物性能点が 7.0 点と同一用途の 5 施設中で最も低くなっています。

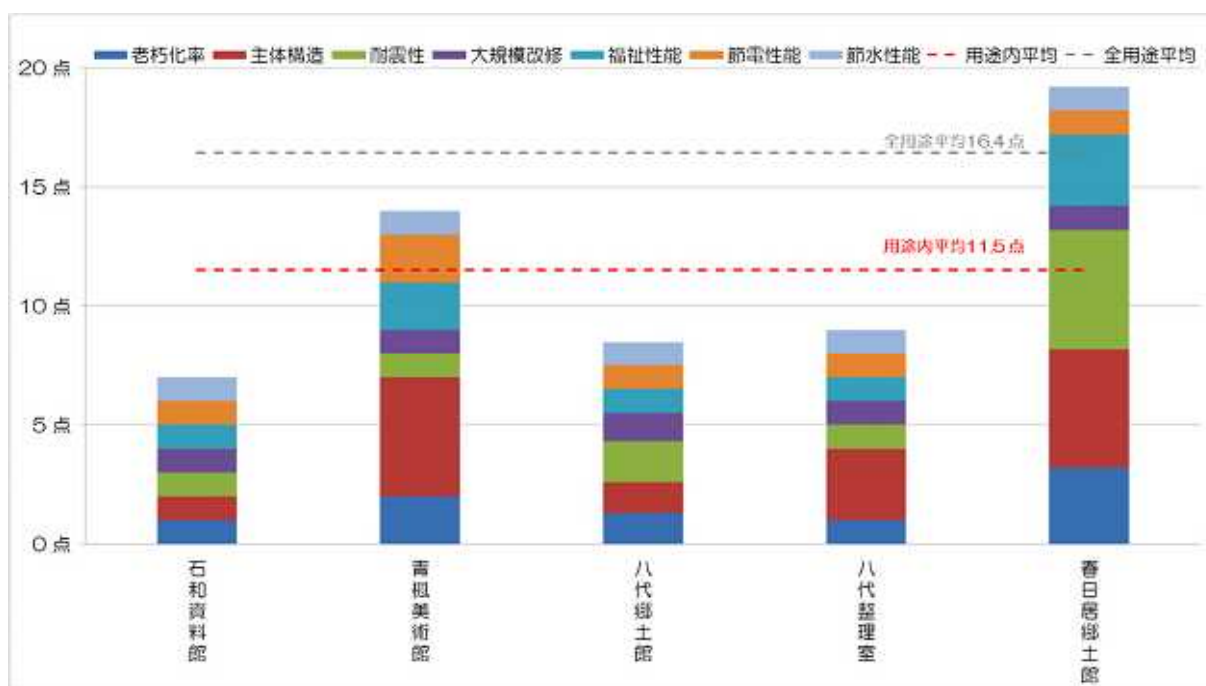


図 2-53 文化施設の建物性能比較

・維持管理コストの現状（財務）

文化施設全体の維持管理コストは、16,397千円となっています。面積当たりコストは平均5.8千円/m²、利用者一人当たりコストは平均3.7千円/人となっています。そのほかに、支出を伴わない減価償却相当額が5,913千円あります（表2-39）。

施設名称	延床面積	平均利用者数	維持管理コスト	収入	減価償却相当額	面積当たり維持管理コスト	利用者当たり維持管理コスト
石和民俗資料館	175.00 m ²		5千円		償却済	0.1千円	
笛吹市青楓美術館	159.00 m ²	1,122人	3,616千円	77千円	386千円	22.7千円	3.2千円
八代郷土館	912.00 m ²	367人	2,544千円	-	378千円	2.8千円	6.9千円
八代文化財整理室	494.00 m ²		91千円		償却済	0.2千円	
春日居郷土館	1,095.45 m ²	2,996人	10,141千円	259千円	5,149千円	9.3千円	3.4千円
合計	2,835.45 m ²	4,485人	16,397千円	336千円	5,913千円	-	-
平均	567.09 m ²	1,495人	3,279千円	112千円	1,183千円	5.8千円	3.7千円

表 2-39 文化施設のコスト情報

図2-54は文化施設の面積当たり維持管理コスト（左）と利用者一人当たり維持管理コスト（右）を比較したグラフです。

面積当たりの平均5.8千円/m²と比較すると、笛吹市青楓美術館は22.7千円/m²で最も高く、石和民俗資料館は0.1千円/m²で最も低くなっています。

利用者一人当たりの平均3.7千円/人と比較すると、八代郷土館は6.9千円/人で最も高く、笛吹市青楓美術館は3.2千円/人で最も低くなっています。

なお、石和民俗資料館、八代文化財整理室については資料展示などを行っていないため、利用者一人当たりコストの比較対象から除いています。

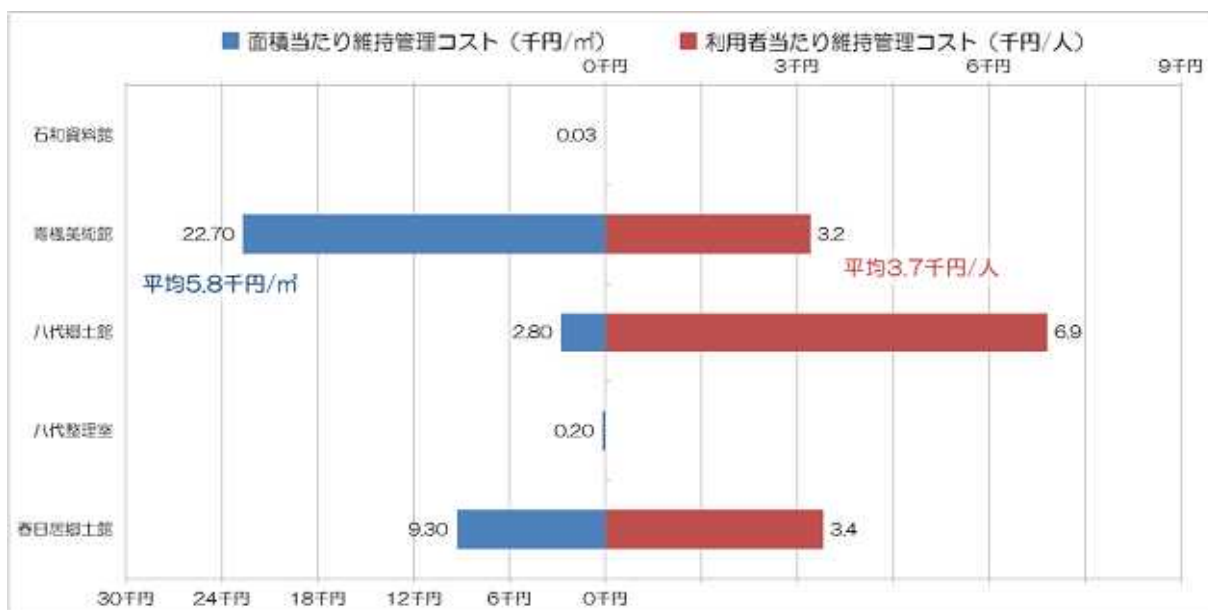


図 2-54 文化施設の維持管理コスト比較

・稼働、利用の現状（供給）

文化施設の平成 22 年度から平成 24 年度までの利用者数の推移は、年度間の変動が大きく、全体では 4,202 人から 3,864 人と 338 人（-8.0%）減少しています。八代郷土館については、増加傾向となっています。（表 2-40）

施設名称	稼働・利用の比較指標	利用者数	利用者数	利用者数	平均利用者数 (A)	過去3年間の最大利用者数 (B)	稼働率
		H22	H23	H24			(A) ÷ (B)
笛吹市青楓美術館	施設稼働率	1,438人	892人	1,037人	1,122人	1,438人	78.0%
八代郷土館	施設稼働率	174人	246人	681人	367人	681人	53.9%
春日居郷土館	施設稼働率	2,590人	4,253人	2,146人	2,996人	4,253人	70.4%
合計		4,202人	5,391人	3,864人	4,485人	6,372人	-
平均		1,401人	1,797人	1,288人	1,495人	2,124人	70.4%

表 2-40 文化施設の供給情報

文化施設については、入館者の推移と稼働率を見るため「過去 3 年間の最大人数に対する過去 3 年間の平均入館者実績数」を指標として比較を行いました。

文化施設全体の平均（70.4%）と比較すると、笛吹市青楓美術館では 78.0%と高くなっています。（図 2-55）



図 2-55 文化施設稼働率の比較